昭和26年 2月24日（土曜日）第228號　磐城毎日新聞　第三種郵便物認可（一）（昭和二十五年十二月六日）（國鐵特別承認新聞紙）第621號

磐城毎日

社長　大和田與兵衛
發行所　福島縣平市15丁目12番地
株式會社磐城毎日新聞社
編集兼印刷人　遠藤孝倫
發行人
電話（平）－二一〇番
定價1ケ月50円 1部2円
【夕刊・月曜休刊】

會頭、副會頭は再選

注目される理事の改選

平商工會議所

平商工會議所新選右衞門の兩氏が當選次で理事七名の選擧を行つたが投出議員の初總會は票數二十九票で開票の結果二十二日午後一時より公會堂日本間次の七氏が當選した、この で二十九名出席理事の選出は種々の意味で（缺席一名）して開注目の的となつていたものであるが舊議員三名、新議催した、先づ抽籤で員四名の劃合で殊に會議所により議席を定め改革派の双璧と見られる强會頭、副會頭（二口唯七郎、佐々木俊男の兩名）を投票により氏が何れも高点で當選した選擧を行つた結果氏は注目に値する、得票次一般の豫想通り會の通り（敬稱略〇印は舊）頭に諸橋久太郎氏〇强口唯七郎　二五
副會頭に野崎滿藏、阿部政　二四
〇清宮　一郎
二三　〇正木昌次郎
二一　佐々木俊男
一九　今井　岩根
一八　山崎　賢助
一四　綠川　佳一
次點一一　鈴木條三郎
以下略

次で監事二名の選擧を行つたがその結果次の通り新舊仲良く各一名宛當選した
一六　（新）坂井清之助
四　（舊）鈴木條三郎
次点　山崎　賢助
以下略

伊藤專務は暫定的

揉んだ專務の承認問題

右の通り役員選擧を終り强口議員の動議によつて會頭副會頭並に理事（代表强口氏）監事（代表鈴木氏）の挨拶があつて議事に入り特別委員として金融、稅務、觀光、商業、工業の五部門を設置する案を附議決定し次で專務理事は議員總會の承認を得て會頭これを選任するとの定款に基き諸橋會頭より現專務理事伊藤秀吉氏の再任につき承認を求めた處强口議員より「暫定的と云う條件でなければ承認し得ない」との强硬意見の發言があり柏原、小野兩議員より强口氏に同調する活發な發言があつて諸橋會頭も窮地に追込まれ馬目議員の動議により伊藤氏以下事務當局の退席を求め更らに揉んだ結果强口議員の發言通り「暫定的」の條件で伊藤氏の專務理事の選任を承認し午後四時過ぎ日程を終り懇談に移つた

平市參與會開く

健康保險と豫算案說明

平市では二十四日午後一時より參與會を開催し市の二十六年度當初豫算案の說明並に飯野神、谷兩支所管内の公營健康保險加入問題について協議する事となつたが二十六年度當初豫算は約九千八百圓（某紙報導の一億九千八百萬圓は誤り）である

地方事務所で自轉車盜まる

平市鯨岡字中根二一番地石城地方事務所公吏、内田進一郎（三〇）さんは十九日から二十一日までの間に石城地方事務所自轉車置場においた中古自轉車七千圓相當盜まれた

舊城跡の空巢

平市舊城跡一一番地印刷工黑澤勝彌（四五）さん宅では二十一日午前九時から四時までの留守中にセビロ、軍服其の他時價八千圓相當盜まれた

土佐犬の盜難

平市仲町二番地モータ商酒井五郎（三三）さんでは二十一日朝庭先で遊ばしておいた土佐犬四萬圓相當が盜まれた

入遠野村の辻强盜

三千餘圓を强奪逃走

二十二日午後八時四十分頃入遠野入遠野東山農業平子透（四一）さんは同村上根岸臺の坂の山の小路を通りかゝつた所が前方よりジャンバーにスキー帽をかぶつた十八才位の男が煙草錢をかしてくれと言ひより話中他の二人が背後から手で平子さんをなぐりつけ平子さんの上衣の内ポケットから現金三千二百圓を强奪逃走した背後から平子さんをなぐりつけた一人は學生服で一人は黑オーバー黑革靴年の頃不明である、植田地區署では犯人嚴探中

チンピラ三人組

數万圓稼いで捕る

湯本町高倉九五湯本中二年生村松某（一四）磐崎村上湯長谷梅平磐崎中一年生平本某（一四）湯本町高倉湯本小六年生渡貫某（一〇）等三名は去る十七日午後五時頃湯本町日渡六〇雜貨商大泉文也（三六）さん方え燒いもを買いに行つて店にあつた黑皮ハンドバック現金五千三百圓在中を窃取二十二日湯本署え擧つた、前記三人組は現在までに總計九件窃取萬引を働き被害額數萬圓に達していた

植田で時計强奪

詐欺の余罪バレル

上遠野村生れ植田町文化劇場柞淵勇さん方雇人梅野稔（二三）は植田町本町パチンコ屋曾我武さん座敷で同字無職小川マリ子（一七）さんが遊びに來たものをつがまいて腕時計三千圓相當を强奪した、二十二日植田町署え擧つた、なほ梅野は他に詐欺數件三千圓相當を働いていた

夕の一言

引續き「いわき民報」の論評を槍玉（？）にあげるのも大人氣ないとは思うが默過し得ない事を御諒承願いたい

二十一日附「民報論壇」に野澤氏は專賣公社の敷地問題を取り上げ市の阿部助役を論難しているが二十日附本紙一面のトップ記事を熟讀されゝば如何に鐵面皮であつても斯る暴論は筆にし得ないと思うのであるが敢て暴論を筆にされた事は甚だ遺憾であり默過し得ない所以である、阿部助役の專斷であつたか否かは最も公正な第三者の立場にある内鄉町の吉田農地委員長の證言を得る事が簡單明瞭である、よつてこの問題については暫く措くとして阿部助役は土地委員（？）に對して「私が辭めればよいだろう」と放言したと論難しているこれは結極水掛論に落ちるものと思うが常識から判斷して阿部助役は現在でも「自分の取つた措置は斷じて俯仰天地に愧じない」と敢然たる態度を示しているのみならず同助役の性格、人柄から見ても斯様な言辭を輕卒に吐いたとは阿部助役を識る程の人は信じないであらう、阿部助役が「ヤメればよいだろう」と言つた事は「助役の職を辭める」意味ではなく離作料の決定に對して若し專賣公社側に不滿があるとすれば自分の取つた措置を「誤破算にする」卽ち白紙に返すとの意味を言つたものである事は助役の言を俟つまでもなく普通常識を備えている者であれば判斷がつく筈である更らに野澤氏は「競輪を作り或は水道問題をやり放し」と自らも放言しているが競輪は中止されたものではない、これからが本格的となるものであり水道問題はご自分の紙上でも報道している通り來る二十七日に起工式を擧げ本格的に着工する運びとなつているものである（續く）　山野邊生

二十三日晩は北寄の風曇勝ちの天氣で惡くすると小雨がありましよう
二十四日は北東の風曇時々晴間がありますが次第に天氣は下り坂となりましよう
海上は大体おさまつて來ましたが二十四日午後から多少波立つて來ます
沿岸地方の强風警報は二十三日午前八時解除された

ソ連地區の病沒者

遺骨拾体を交付す

田善藏

石城地方事務所では二十三日午前九時より同所會議室においてソ連地區病沒者の十柱の遺骨交付式を行つた病沒者氏名左の通りである
△上小川村村田点光、江名町安食商展、田人村大竹武、渡邊村大友克男、上遠野村櫛田近雄、龍田村佐藤博也、下小川村新妻惠夫、勿來町高橋政次郎好間村高木章、赤井村吉

露店の万引男

現行犯で捕る

平市署では窃盜現行犯人として好間村北好間板木澤十番地無職橋本素三〇を二十一日午後二時半頃逮捕した同人は二十一日午後二時頃平市内三丁目大黑屋前露天商山下トクエ（三三）さんの賣場において紺サージ二ヤール五百圓相當を萬引したもの

大臣賞授賞
アメリカで大好評!!!
アメリカ國產始めての素晴らしい照明輕くて堅らうな
トヨダミシン
輸出特級品
トヨタミシン　特約代理店
シンガーミシン元平營業所
平市二丁目　ミシン商會
石川（向ひ）
（平）電一二三二番　信用組合

和洋輕食　出前迅速
支那料理　もと茂登
平市仲田町　電二〇四　女め

藝能名人會

入場料　金百圓

期日　三月四日（日曜）一日限り　晝の部―午後二時より　夜の部―午後六時より
場所　平市公會堂
出演者
奇術　松旭齋天曉
浪曲　三笠　輝子
歌謠曲　春日ひばりとそのグループ
漫才　林家　染次　染子
落語　三遊亭圓歌
一行十數名

主催　平市防犯協會
後援　平市公安委員會　平市警察署

優秀カメラと現象、密着、引伸は最高技術と親切な……
飯田カメラ店へ
紺屋町　聚樂館前

磐城名産　皆樣の魚店
節辛
丸市屋
平市四丁目　電話二一三番

昭和25年7月6日
(二) 第三種郵便物認可 昭和26年(1951)
磐城毎日新聞
2月24日（土曜日）第228號

民族の英雄 (6)

外では犬共か狼のやうに吠える、が小さいマオが平和の城が、いよ〳〵近いよようだ、ただこの時は、勞うに思う……。眼がさめると、小さいマオはさらに、大冒旅行をつづけたにちがいない、彼はこうして三日間も歩きまわつた、だが不運？にも彼は途中でまんまと家族の者につかまつてしまつた。

それから三十年たつて、マオは三十萬の中國赤軍をひきいて、シニシイへと萬里の大遠征をとげるか、その勇氣と、その決意と、その忍耐は、すでにナオのマオを君にも、ひそんでいた働者農民といつしよでなく小さいマオ一人だつたからまんまと、その大遠征に失敗したが、しかも、小さい英雄がつかまつた處は、家からわずか五キロたらずの處だつた、小さい英雄は、道に迷い迷つて、ぐるぐる廻りしていたらしいだが、さて、ぼくたちのマオは、家につれもどされてから、どうなつたろう……？

小さいマオ君の遠征は失敗した、當然、彼は、どんなに、ひどいめに合はされるかと胸を熱くした、ところが……家にかえつて見るとこれは不思議、父はだいぶ、おだやかになつておとなしぐなつて居る、先生も、そうとうからわずか五キロたらずの處だつた、小さい英雄は、マオはおれの抗議が、こんなにも効果をもつたのかな、と、かえつておどろいた位いだつた、こうして、彼の斗爭の目的は、いくらか達せられたのだつた、のちに中國主席のマオが、これが僕の最初の成功したストライキだつた、といつているまつたく、そうだつた。

こわいお父さんは、マオに、なぜ勉強をさせたか、それはマオに、文字を習わしておけば商賣の帳つけをやらせる事が出來、又、そろばんを、習わせておけば商賣の計算が出來るからだ、マオが、そういう事が、出來るようになると、すぐそれにこき使つた、マオの父はマオに畑仕事がない時には帳すけをやらせ、帳すけのない時は、畑仕事をやらせ少しでも、遊ばせる事はなかつた。

だいたい彼の父は氣が短かくて、マオと弟とを、よくなぐつたそうだが、お母さんは、どうだつたか？

續く

×

修築よりも移轉案

元平陽女校々舍が有力

平陽女學校は機動班の宿舍が他に移つた場合はこの建物を利用する事が最も適當であるとの意見も出たので渡邊、井澤兩氏は市の長谷川、千葉兩課長の案內で元平陽女學校を視察歸縣したがこの校舍も相當修繕を要するが校舍としては申分ないものと見られている、なお現在平盲啞學校には盲啞人合せて六十四名を收容しうち盲人二十八名啞人三十六名で男女の數は盲啞とも半數づつである

平盲啞學校

縣立平盲啞學校の建物が余りにもひどい現狀に鑑みて昨年十二月末縣當局にその善處方を陳情した事は當時所報の通りであるが縣當局に於ても校舍の模樣替等につき對策を講ずる事になり調査の爲に二丁目縣敎育委員會渡邊次長、縣婦人兒童課井澤課長の兩氏が來平し平盲ろう學校の實狀を視察した、同校は四十年前に建築されたもので壁の落ちたのや雨漏個所が到るところに見られ荒廢そのものの狀況をつぶさに視察し市役所を訪れ阿部助役、芳賀地方事務所次長、市の長谷川敎育課長、千葉社會課長等關係者と懇談した、その席上現校舍の模樣替よりも寧ろ新築してはとの案も出たが新築となれば敷地として五百坪、學校及寮等の建物約二百坪を要し建築費だけでも四百五十萬圓を要するものと見られ現在の財政面と敷地の問題から新築は困難視されるので既設の建物を利用するとすれば現在警察の機動班の宿舍にあてられている市所有の元

小名濱庶民住宅完成

希望者は抽籤で決定

小名濱町では國庫補助によつて建設した庶民住宅十戸を、野口組、小原組の兩請負業者の手に依つて、工事中の處この程完成したので町役場では希望者を抽籤で決定する事になつて居るが次の如き條件を具備したものを資格者とする事になつて居る

□住宅に困つて居るもの
□立退要求、狹少不良住宅
□遠距離通勤者、別居等
□日本經濟の安定に役立つ業務に從事して居る最低所得の勤務者 □町內及び其他隣接町村區域に勤務するもの
□月收概ね一萬五千圓未滿八千圓以上のもので屋賃の支拂能力のあるもの

小名濱町では國庫補助によつて建設した庶民住宅十戸を、野口組、小原組の兩請負業者の手に依つて、工事中の處この程完成したので町役場では希望者を抽籤で決定する事になつて居るが次の如き條件を具備したものを資格者とする事になつて居る

□住宅に困つて居るもの
□立退要求、狹少不良住宅
□遠距離通勤者、別居等
□日本經濟の安定に役立つ業務に從事して居る最低所得の勤務者 □町內及び其他隣接町村區域に勤務するもの
□月收概ね一萬五千圓未滿八千圓以上のもので屋賃の支拂能力のあるもの

小名濱の成年式

二十日擧行さる

小名濱町に於ける本年成年に達した男女の成年式は二十日午前十時から、第一校講堂に於て擧行した、來賓としては水野町長を初め、菅原議長、各學校長、各官衙長、青年會、婦人會、町會議員、等參列し高木公民館長の開會の辭によつて開式、水野町長、菅原議長、草野社會敎育委員長、三浦郵便局長、坪內敎育委員長松田婦人會長、小泉第二青年會長などの祝辭があり後

平で凍豆腐配給

希望の一般家庭

平市では家庭用として凍豆腐の希望配給を次の要領によつて行う事となつた

一、配給對象＝希望の一般家庭消費者
二、配給基準＝一世帶百匁
三、配給價格＝百匁につき百三十圓
四、配給期日＝二十四日より三月五日まで十日間

尙配給店舖は次の通り
△長橋町岡部作松、金成菊雄(五三)さん方の藁ボッチより出火同藁ボッチ七本を燒き午後一時半鎭火損害原因調査中

小名濱海上保安部

鋼鐵巡視船を要望

小名濱海上保安部部長遠山氏は最近海難事故が相次いで起るので之が對策として大型巡視船が絕對必要だと二十一日出縣、大竹知事に對して二百七十トン型鋼鐵巡視船の配屬陳情に協力するよう要望した

下片寄のワラ火事

二十一日午後零時半頃平市下片寄野之內四〇農新妻重男△正內町白土昇△鎌田町佐藤一△仲間町大衆彥太郎△鷹匠町佐藤正二胡摩澤豊島きい大方よし新町光崎清二

勝男氏の臍

(一) 芳賀他鄕

勝男氏と言つてもどこの勝だか平町であつた二十數年前男氏と思うだらう、それほからずに地方在住の一流文化人として、當地から發ど勝男と事ふ名前は一般的刊されてゐた唯一の文藝誌な名前である。しかし高瀨「指南東」に據つて、詩を勝男と書けばあゝつ彼かと書き創作をものにして作畫美術の秋に活躍する地方在以外にも文化全般に涉つ中の畫家として昨秋の新聞て地方文化の發展に盡力し に紹介されてゐた氏を改めて來た數少い文化人の一人て思ひ出す人は多いことなのである。しかし氏は早であらう。とにかく氏は生涯くから中央畫壇の二科會に

×

拾い讀み

縣城の名物と云い乍ら本年の風は特に身體に答える風ばかり毎日ふいて居る、一寸聞いたことですが、ある人の話しでは本年の雪は六年とか七年ぶりであるとの話しですが、全く本年はこの町でもめづらしくよく降りました、このさむさと戰ふある人の話しですが同町の有る工場と云いますか又〇〇製造所と云いますか毎朝早くから夜はおそく迄働らく者がある、若い者を毎日十五、六時間働かせるとは誠にひどいと思う、先づ勞働法に非ずだそれで〇〇も安いとの事だ、それとも勞働法が訂正されたのか私はしりませんが、使う人も働く者の体をよく考いて見てほしいと思います、いくら勞働八時間制といいども勞働基準局もお手上げだ

旅館で現金拔かる

長野縣松本町高宮町高宮五五番地會社員米久保孝(四〇)さんは二十一日田町小野新旅館で便所へ行つて居る際室內にかけて置いたセビロから現金五百圓盜まれた

本場＝自慢
牛肉豚肉
配達迅速
第一線 屋
第二線 屋
第一 電話五三九番
第二 電話七九四番

産婦人科 齊藤醫院
齋藤正雄
平市南町 電九〇二番

外科 木村醫院
木村淳
平市南町 電三〇九番

伊藤齒科醫院
伊藤一人
平才槌小路 電三四五